



まなびや

令和6年2月29日

3月号

東市ヶ尾



桜の季節は、感謝のとき

校長 霜田 恵子

校庭の梅の花が咲き、桜のつぼみも膨らむ季節になりました。早いもので、この学校だより「まなびや」も3月号を発行する時期となりました。

この1年間、保護者の皆様、地域の皆様には、本校の学校教育活動にご理解と温かいご支援をいただきまして深く感謝申し上げます。皆様が支えてくださったおかげで、本校の子どもたちは健やかに学び、貴重な体験を重ねることができました。伸びしろが大きい小学生の1年間の成長は、手に取るように伝わるものです。4月に比べ、次のような成長した子どもの姿が見られます。

- ・きまりを守り、落ち着いて学習や学校生活を楽しむ姿。
- ・表現方法や道具の使い方等を学び、学びを生かして作品を仕上げる姿。実生活を豊かに彩る姿。
- ・教師主導でなく、子ども同士で考えを伝え合い、学び合う姿。
- ・タブレットを使いこなして文章を書いたりプレゼンテーションしたりする姿。
- ・学びの成果をテレビ放送で、全校児童に発信する姿。

などです。子どもたちの著しい成長の姿だけでなく満足そうな表情も思い浮かべることができます。私たち大人にとってはあつという間の1年間のよう感じられますが、子どもたちは確実に力をつけ、すくすくと成長していることを改めて感じ、とても嬉しく思います。同時に、至らなかった点についてのご指摘は真摯に受け止め、できる限り来年度以降の教育活動に生かしてまいりたいと思います。

3月と言えば、卒業の季節でもあります。

先日、校内を巡回していると、6年生が卒業に向けて披露する曲「いのちの歌」を練習する場面に遭遇しました。その曲は、偶然にも、過去に私が受けもった卒業生も練習し披露した、私にとって思い出のある曲でした。曲のもつ力は大きく、その曲を聴くたびにその子たちのそのときの姿がよみがえり、その曲の歌詞が放つパワーと共に自分自身が励まされることを伝えました。私の大切な思い出のBGMのような存在です。だから、6年生にも歌詞の意味を考えて歌ってほしい、東市ヶ尾小学校での仲間との思い出を曲にこめて歌ってほしいと激励しました。子どもたちも卒業後のふとしたときに、この曲を耳にして仲間と過ごした小学校のことを思い出し、勇気づけられたり、励まされたりしてくれたら…と願います。

3月19日に卒業証書授与式が行われます。6年間でたくさんのことを学び、大きく成長した6年生。今年度は、学校のリーダーとして活躍してくれた6年生。さわやかなオーラを発する彼らが卒業していくことは、本当に寂しいことです。しかし、卒業は人生の大事な節目。心からお祝いし、卒業生の今後の活躍を精一杯応援します。

☆ お知らせ

コロナ禍を経て、感染症による学級閉鎖の判断基準が見直されました。欠席や出席停止人数が多くても、以前と異なり閉鎖にならないことがありますので、ご注意ください。学級閉鎖の際には、メールや配付プリントでお知らせいたします。